お施主様へ
パニートスリム　取扱説明書

施工業者様へ
このしおりをお施主様へ
必ずお渡し下さい。

この度はパニートスリムをご採用頂き、ありがとうございます。
パニートスリムを安全に末永くご使用頂く為に、いくつか大切な事項がありますので、
取扱説明書は必ず保管して下さい。

使用上のご注意

・パネル表面へ直接水をかけないで下さい。

・パネルに釘を打ったり、木ネジなどを打たないで下さい。亀裂が入る恐れがあります。

・炎を直接当てたり、加熱した鍋などをパネル表面へ直接接触させないで下さい。
※パネル表面の光沢がなくなったり、焦げの発生の原因になります。

・やかんなどからの蒸気を直接当てることはしないで下さい。
※パネル表面の光沢がなくなる恐れがあります。

・モップやブラシでパネル表面を強くこすりますと、キズやヘコミの原因をなりますので使用しないで下さい。

・カレー粉、醤油、染め剤、養毛剤、ヨードチンキ等の薬液がかかったままにしておくと、変色する恐れがありますので、薬液が付着した場合には直ちに拭き取って下さい。

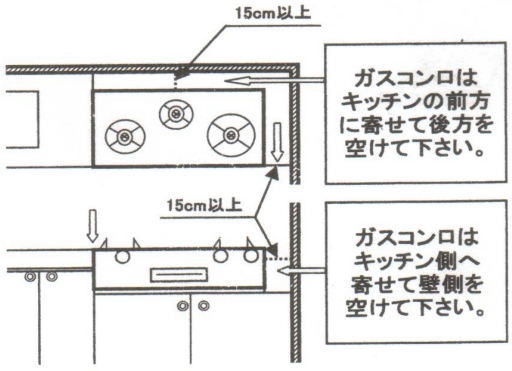
・酸性のトイレ洗剤はパネルの表面を変色させますので、お使いにならないようにするか、使用した場合には直ちに拭き取り水拭きするようにして下さい。

・パネルの表面に直火や熱い鍋などが当たりますとコゲや火ぶくれをおこしますので、コンロ回りでのご使用時にはご注意下さい。

ワンポイント

パニートスリムと家庭用調理器具（4,600kcal 以下）端部や機種によっては排熱口との距離は 15cm 以上確保して下さい。15cm 以上確保出来ない場合は 30cm 以上の高さの防熱板をパニートスリムの表面から 5cm 以上離して取り付けて下さい。また加熱された鍋類がパニートスリム表面に直接触れないようにして下さい。

※上記条件を満たしても直接炎がパニートスリム表面にあたらないようご注意下さい。
※ガステーブルはキッチン側（パネルから遠い側）、及び前面へ寄せて使用して下さい。ビルドインタイプ以外の場合は特にご注意下さい。
※本注意事項は法令上の注意事項ではありません。コンロ廻りの設計に関しては火災予防条例に従い行って下さい。



メンテナンス

・パネル表面の汚れは、柔らかい布か、スポンジに中性洗剤をつけて拭き取り、その後水拭きしてから乾いた布で水分をきれいに拭き取って下さい。

・頑固な油性の汚れはガラスクリーナーかエチルアルコール（薬用アルコール）、ベンジンなどで拭いて下さい。

・パネルはお手入れ次第で美観を保ち、長持ちさせることができますので、週に１回程度の清掃をして下さい。

日本デコラックス株式会社
本社　〒480－0103　愛知県丹羽郡扶桑町柏森
ＴＥＬ（０５８７）９３－２４１１　　ＦＡＸ（０５８７）９１－１０７０

重 要

ノンアスベスト『不燃メラミン化粧壁材』

パニートスリム

（国土交通省認定番号　NM-０８７１）

施工説明書

１．安全上についてのご注意

ケガや事故を防止するために、『警告』、『注意』に区分してあります事項が下記に記してありますので、必ず読んでお守り下さいますようお願い申し上げます。

誤った取扱いや施工を行ったときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつくものを ⚠警告の項目に、また状況によっては重大な結果に結びつく可能性のある事に関しては ⚠注意の項目に記してあります。

⚠警告

1．施工に使用する接着剤には有機溶剤が含まれていますので、十分な換気を行いながら作業を行って下さい。溶剤によって身体に影響の出る恐れがあります。

⚠注意

1．運搬、作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、パネルの加工時には保護マスクと保護メガネの着用をして下さい。また室内等の換気の悪い場所では集塵機能のついた切断機を使用するか、換気を良くして作業を行って下さい。もし、切粉が皮膚についたり、目や鼻、口に入った場合には、速やかに水で十分洗い流して下さい。また異常を感じたら、直ちに医師の手当を受けて下さい。

2．切断加工を行ったパネル端部は施工後においても手を切る恐れがありますので必ず端部をサンドペーパー（＃１８０～３２０）等で糸面取りを行って下さい。

3．下地の施工方法や材料の仕様形式は建物の構造と関連しています。不適切な工法や材料で施工を行うと施工不良の原因となり事故を引き起こしますので、本書の指定された工法にて施工を行って下さい。※施工時には現場監督と相談の上で施工を行って下さい。

4．施工後は必ず点検を行い、不具合な箇所を見つけたら直ちに補修をして再度点検を行って下さい。

２．取り扱い上のご注意

（1）施工の開始前に製品の品番確認及び運送時破損等の有無確認を行って下さい。
※その後の責任は負いかねますのでご注意下さい。

（2）積み降ろしや運搬の際には製品がたわみますので、２名以上の運搬にて角の破損に注意して下さい。

（3）パニートスリムは３mm 厚と薄いので、お取り扱いには十分ご注意下さい。

（4）地面やコンクリート面には直接置かず、厚板やパレットの上に平積保管して下さい。また製品の上を歩いたり腰掛けたり物を置かないように注意して下さい。

（5）雨水に濡らしたり直射日光にさらしたりしないで、屋内の風通しの良い所に保管して下さい。

（6）壁等への立てかけ保管については、反り発生の原因となりますので厳禁です。

（7）ロープのじかがけと落下の恐れのある状態への放置は避けて下さい。

（8）梱包ケースを開梱状態で放置すると反りの発生する原因となることがありますので、ケースから取り出したあとは出来るだけ早く施工して下さい。

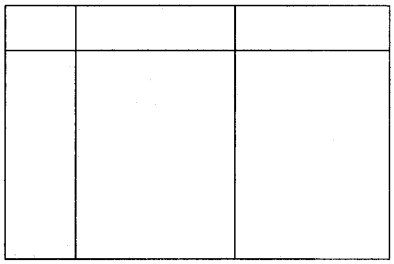
３．施工手順

（１）**下地調整**

下地は石膏ボードが基本ですが、タイルの上へ施工する場合には、施工後古いタイルが剥がれる恐れがありますので、浮き・剥がれがないか木づち等で叩いて確認して下さい。

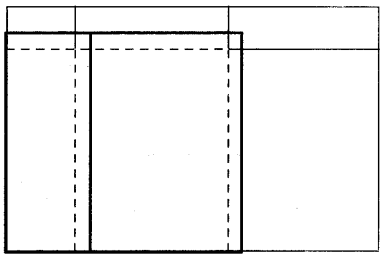
但し、打っ放しのコンクリート面及びモルタル面等への直貼りは出来ません。また木質系下地（合板ボード等）については防火上の理由のため不可です。

下地に凹凸がある場合は、両面テープの重ね貼りするか、捨て板を貼る等して調整して下さい。ホコリ、油、水ぬれがありますと接着不良の恐れがありますから十分清掃して下さい。ぬれている時は乾くのを待ってから施工して下さい。ケイカル板、フレキ板にも施工できますが、その場合は専用シーラー剤（コニシ製 KU－633 等）にて処理して下さい・



（２）**墨出し**

ボード下地の継ぎ目部分（点線）とパニートスリムの継ぎ目部分（太線）が重なり合わないように割り付けて下さい。

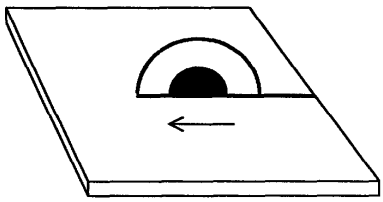


（３）**切断１**

切断は基本的に電動鋸、及びハンディーソーやパネルソー等で切断して下さい。掻き上げ式の電動ノコを使用する場合はチップソー（超硬刃）の回転方向が、化粧面側から裏面側へ抜けるように切断して下さい。

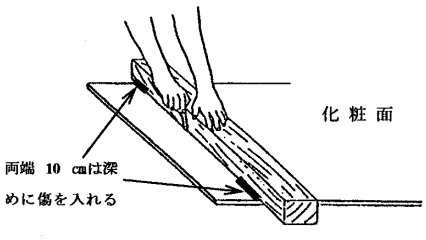
切断や穴あけ等の加工時には製品が振動しないように固定し化粧面にキズがつかないように注意して下さい。

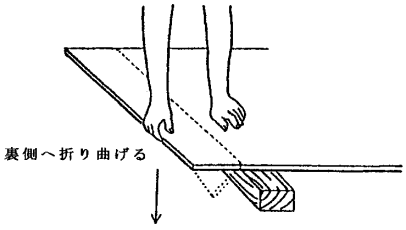
尚、切断面に凹凸がある部分は、鬼目ヤスリやサンドペーパー等で切断面を平らに仕上げ、さらに面取りを行って化粧面の角を取って下さい。



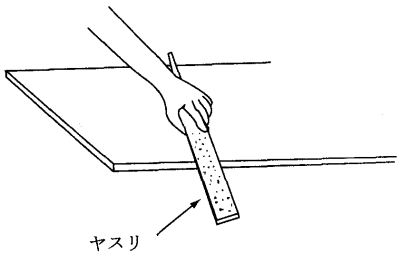
（４）**切断２**

Ｐカッター又はケガキカッターでも切断可能です。化粧面から角材等を定規として当てて、２～３回ケガキ傷を付けて下さい。（※両端 10 ㎝位は特に深めに）その角材等を利用して、裏面側に折り曲げて切り離して下さい。





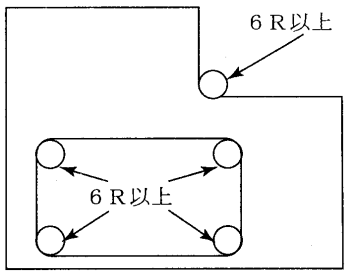
また切断面は凹凸していますので鬼目ヤスリやサンドペーパー等で平らに仕上げ、さらに面取りを行って化粧面の角をとって下さい。



（5）**切り欠き・穴あけ**

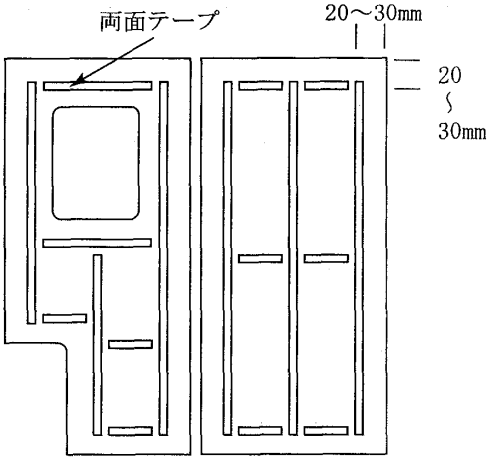
切り欠き加工にはスレート鋸又はハンディーソーで切断して下さい。

切り欠き接合点には必ずΦ１２㎜以上のドリルで穴を開け、６Ｒ以上のＲをとって下さい。６Ｒ未満の場合は施工後、亀裂が入る場合があります。



（6）**両面テープ貼り**

加工後、製品の裏面へ右図のように当社指定の両面テープ又は市販の１㎜厚の化粧ボード施工用両面テープを外周周部から 20～30 ㎜控えた位置と中央部に貼り付けて下さい。



（7）**接着剤塗布**

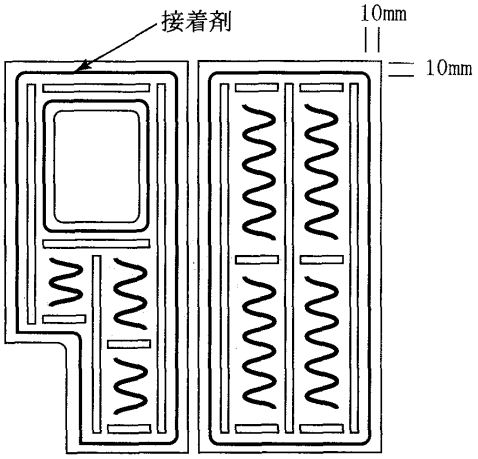
次に当社指定ウレタン樹脂系の接着剤又は変性シリコン樹脂系の接着剤をコーキングガンを用いて、右図のように外周部から１０mm ひかえた位置と中央部に塗布して下さい。接着剤の塗りムラがあると、高湿時にフクレを生じることがありますので注意して下さい。

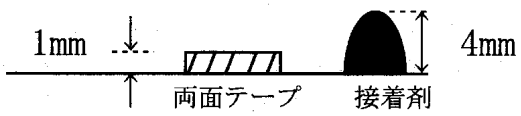
※接着剤標準使用量

：３尺×８尺サイズ１枚あたり　１本（333ml）

（※0.5 本（167ml）／m²）

※両面テープは仮止めです。接着剤の糊山の高さは、両面テープ(厚さ 1mm) より高く(高さ 4mm)塗布して下さい。

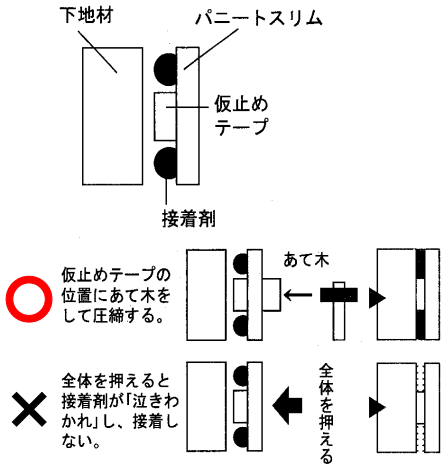




（8）貼り付け

接着剤塗布後、１０分以内に所定の位置に貼り付けて下さい。貼り付け時には、接着剤の上を押さえず、必ず両面テープの貼り付けた位置にて押さえ込むように加圧し、十分密着させて下さい。接着剤が硬化する間(※２０℃×２４時間以上)養生を行って下さい。

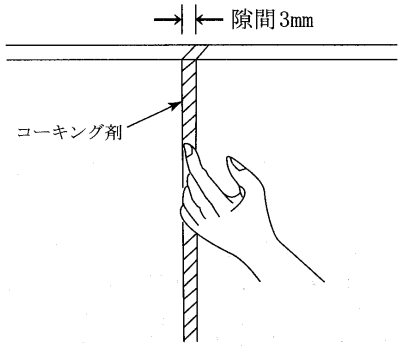
パニートスリムは釘打ちや木ネジ固定は出来ません。必ず化粧ボード施工用の両面テープと接着剤を併用して固定して下さい。



（9）仕上

目地部の処理には、パニートスリムの間に３㎜の隙隙間を空けて、隙間部分に別売りのコーキング剤（防カビシリコンコーキング剤をお薦めします。)を入れるか、ジョイナーを使用して下さい。

「突き付け施工」や「目透かし施工」はおやめ下さい。



コーキング剤としては
・コニシ㈱製「ボンドシリコンコーク（防カビ)」
・信越化学工業㈱製「シーラント４５８８（防カビ)」
（白・アイボリー・ライトグレー）をお薦めします。

(10) 調理器具廻り処理

パニートスリムと家庭用調理器具（4,６００kcal 以下）端部や機種によっては排熱口との距離は、150㎜以上確保して下さい。150㎜以上確保出来ない場合は、300㎜以上の高さの防熱板をパニートスリムの表面から 50㎜以上離して取り付けて下さい。また加熱された鍋類がパニートスリム表面に直接触れないようにして下さい。

※上記条件を満たしても直接炎がパニートスリム表面にあたらないようにご注意下さい。

※ガステーブルはキッチン側(パネルから遠い側)、、及び前面へ寄せて使用して下さい。
ビルトインタイプ以外の場合は特にご注意下さい。

※本文注意事項は法令上の注意事項ではありません。コンロ廻りの設計に関しては火災予防条例に従い行って下さい。

作業終了時、製品に梱包してあります「パニートスリム取扱説明書」を施主様に必ずお渡し下さい。

製造元 日本デコラックス株式會社
http://www.decoluxe.jp/

本社	〒480-0103	愛知県丹羽郡扶桑町柏森	TEL〈0587〉93-2411(代)	FAX〈0587〉91-1070
デリバリーセンター	〃	〃	TEL〈0587〉91-3501(代)	FAX〈0587〉91-3505
三重工場	〒510-8114	三重県三重郡川越町大字亀崎新田字下新田77番577	TEL〈0593〉65-9119(代)	FAX〈0593〉61-2024
札幌営業所	〒060-0041	札幌市中央区大通東三丁目4番地1(オフィス大通ビル6F)	TEL〈011〉242-7288(代)	FAX〈011〉242-7285
東京営業所	〒101-0032	東京都千代田区岩本町三丁目2番10号(ＳＮ岩本町ビル5F)	TEL〈03〉5687-4721(代)	FAX〈03〉5820-7134
名古屋営業所	〒450-0002	名古屋市中村区名駅五丁目4番14号(花車ビル北館8F)	TEL〈052〉581-8131(代)	FAX〈052〉581-8067
大阪営業所	〒531-0072	大阪市北区豊崎五丁目6番7号(サンプラザビル6F)	TEL〈06〉6375-1671(代)	FAX〈06〉6377-3196
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目11番15号(博多駅東口ビル3F)	TEL〈092〉452-1150(代)	FAX〈092〉477-2271